

会 議 録

1 会議名

平成29年度第8回中郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）報告

地域協議会会長会議の開催結果について

（2）協議（公開）

自主審議事項について

（3）その他（公開）

3 開催日時

平成29年11月30日（木）午後6時30分から午後8時5分まで

4 開催場所

中郷区総合事務所 第4会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・ 委 員：荒川清尊、岡田雅範、岡田龍一、坂田浪平、高橋京子、高橋達也、
竹内昭彦、竹内靖彦、古川由美子、松原功、水嶋敏昭、陸川昇一

・ 事 務 局：中郷区総合事務所 木村雄二所長、小嶋淳一次長、城戸俊夫市民生活
・ 福祉グループ、教育・文化グループ長
総務・地域振興グループ 丸山良彦班長、井田義之班長、渡辺智則主任
市民生活・福祉グループ 市村久美子班長

〔 以下、総務・地域振興グループは総務G、市民生活・福祉グループは
市民G、教育・文化グループは教育G、グループ長はG長と表記 〕

8 発言の内容（要旨）

【丸山班長】

・ 会議の開会を宣言

【高橋会長】

- ・挨拶

【丸山班長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【高橋会長】

- ・会議録確認：「荒川清尊」委員と「坂田浪平」委員に依頼。

始めに、報告事項(1)の「地域協議会会長会議の開催結果について」報告する。去る11月21日(火)に、今年度第1回目となる地域協議会会長会議が上越文化会館で開催され、木村所長とともに出席してきた。内容については資料No.1のとおりである。この中で、委員の皆さんにお伝えすべき事項について、かいつまんで報告させていただく。

- ・資料No.1に基づき、「平成30年度地域活動支援事業」、「自主的審議の活性化に向けた意見交換」について、それぞれ報告

【高橋会長】

皆さん、この件で何か質問等はあるか。

ー全委員なしー

【高橋会長】

特にないようなので、報告事項(1)の「地域協議会会長会議の開催結果について」は、これで閉じることとする。

【高橋会長】

続いて、協議事項(1)の「自主審議事項について」協議する。

先月は、私の独自の視点から重要かつ喫緊に進めるべきと思われる課題として、「二本木駅」・「消雪パイプ」・「スクールバス」の3点を挙げ、協議いただいたところである。このような中、行政の考えや皆さんから出た意見等を踏まえ、課題を「二本木駅」に絞り、基金の用途を含めた今後の審議の進め方について協議したいと考えている。なお、事前に配布した資料No.2は平成25年度当時、自主審議事項として取り組んだ「二本木駅を中心とした地域活性化」の際に使用した資料である。協議の参考にしていただきたい。

- ・資料No.2に基づき、当時の進め方について説明

それでは、各委員の発言を求める。

【竹内(昭)委員】

進め方としては、ある程度のグループに分かれて審議し、協議経過について全体会でその都度報告し合い、内容を詰めていくのがよいのではないかと。トイレを中心とした整備を柱とし、駐車場や諸々のことを考えていく中で、我々地域協議会委員だけではなく、関係団体も中に入って意見調整などの場を設けていければと思う。

【高橋委員】

協議すべき事項としては、具体的にどのようなトイレにするのかという、いわゆる環境部分の問題、二本木駅を地域の活性化に結び付けるのであれば、そこから発信できる情報の問題、これらに関わる人々の問題などが挙げられる。提言をまとめていくのであれば、話し合う柱を何本かきちんと立てて、その柱に寄り添って部会を設置し、話し合っていくことが大切なのではないか。話題が茫洋としている中で話し合っても、方向性がなかなか見えてこない気がする。

【坂田委員】

いろいろな取組みがあるかとは思いますが、まずは二本木駅を中心とした地域の活性化を図るには、どのようにしていけばよいのか考えていかなければならない。そのためには、どのようなことが必要なのかりストアップしていくことが大切である。その中の1つとして、トイレの改修がある。二本木駅周辺を見渡してみると、全体の敷地がかなり広く、様々なところで改善していかなければならない箇所が見受けられる。このため、鼻からトイレばかりに拘るのは危険だと思っている。先日、今年最後のスイッチバック市が開かれた。この日は天候が悪かったのだが、そのような中、北国街道を歩いてきた人がいた。寒さのため震えていたようだが、駅前で同市が開かれているのを知って、四季の会が作った弁当や商工会が振舞った暖かい飲み物を飲食していた。そのような光景を見た時、駅にも何か必要だと感じた。駅は乗降者のみならず、地元の方も年間にするとかなりの人が訪れている。外部の人を取り込むということになると、視点も広くする必要があるのでないだろうか。

【岡田(龍)委員】

やはり、駅のトイレは基本的なことだと思う。観光地を含め、公共的なことを考えると、トイレが綺麗でないと訪れた人に良くないイメージがついてしまう。トイレを改修する際は、えちごトキめき鉄道とも協議しなければならないことになるかと思うが、まずは分科会に分かれてある程度打ち合わせをし、全体で話を詰めていくことが

大事だと思う。また、他にもどのようにしていけばいいのか、別の視点からも検討していくことも必要である。トイレで1部会、その他で1部会というように、2部会程度を設け進めていくのがよいと思う。

【荒川委員】

いろいろなことを考えても、思うように進んでいかない気がする。このため、トイレの改修という一つの目標があるのであれば、まずはそこから立ち上げていって、それが完結したらまた次のことを考えていくのはどうだろうか。1つのトイレ施設ではあるが、これを造るのもなかなか大変なことだと思う。目的が決まれば、まずそれをクリアすることに集中していくのがよいのではないか。

【陸川委員】

トイレだけを皆で協議しなくても、観光客の視点に立った協議を別途することも必要だと思う。トイレはある程度決まっているものである。このため、場所を何処にするのかとか、形はどのようにするのかさえ協議できればよいのではないか。そのようにすれば、ある程度見えてくるものだと思っている。トイレに関わる委員は少人数でよいのではないだろうか。

【水嶋委員】

皆さんの話を聞いていると、何故二本木駅なのかと勝手に思う。中郷区全体を見渡してみても、人の寄れる場所は二本木駅くらいしかないのだろうか。これまで、二本木駅は地元の人あまり見に行くこともなく、昔は日曹の従業員が非常に多く利用していたものである。車の時代になると、通勤手段として鉄道を利用する人は限られた人になっているのが現状である。そのような中、二本木駅を利用して人を寄せようとしているのか、区内の住民を駅に呼び寄せて皆で楽しむのか、何を重点的に行っていこうとしているのかが見えてこない。いずれにしても、トイレを一番初めに手掛けなくてはならないと私も感じており、そうしないと何をもってきても始まらないのではないだろうか。それと駐車場だが、特に東側は車止めもないのに、よく車が落ちないものだと不思議に思っている。いつか必ず問題が起きるのではないかと危惧しているところである。また、乗客は駅から降りてくると大概、ラーメン屋は何処かと聞いてくる。寒くなれば尚更である。このため、何かのイベントの際、ラーメンやカレーの出店ができないのかと感じている。

【松原委員】

これまで、いろいろと駅を中心とした取組みを行ってきたが、区内の住民の関心はそれほど上がってきていないと感じており、イベントの際も何か無料での振る舞いがないと来ない傾向がある。一方、駅を訪れる人の数自体は、鉄道マニアやえちごトキめき鉄道の取組みによって着実に増えている状況である。トイレについては、定期的に清掃されており、そんなに汚くはないと思っているが、便器が和式のため敬遠されがちになっている。また、足腰の悪い人は駅の中にある狭いトイレを利用するしかなく、今の駅前トイレでははっきり言ってあまり役に立っていないと思っている。このため、まずはトイレを直していかないと次へ進まないのではないかと感じている。

【古川委員】

皆で話をしているにもかかわらず、漠然としてなかなか前に進んでいかないと感じている。また、トイレの話が先ほどから出ているが、トイレだけを進めていくのではなく、トイレの部会、その他の部会というように並行して進めていくべきだと思う。駅前駐車場も最近部分的に舗装し直した箇所があり、それだけでも垢抜けた感じがする。また、待合室も昔に比べたら可愛い座布団が置いてあり、写真も飾られている。もう少し展示物が増えれば、地元の人々も興味をもって訪れるのではないかと思う。資料No.2に記載されている平成25年度当時に行った拾い出しはとてもよいことであったと思う。例えばジオラマなどすでに実現したものが幾つかある。これを参考に、地域活性化に向けてどのようなことをしていけばよいのか、部会を設け審議していけばよいのではないか。

【竹内(靖)委員】

平成25年度当時から今年度に至るまでの間において、一定の成果は出ているのではないだろうか。その中で、唯一手が届かないのがトイレの件である。改修するには膨大なお金がかかることになり、想いが届かないものになっている。地域協議会委員として声を上げていく理由の根底はそこにある。もし、できないのであれば協議会委員になった意味がないくらいの気持ちでいる。今、やっとトイレの改修に踏み込むことになったことから、また一からやり直すことは絶対にしたくない。これから年が明けて一歩踏み出す時に、予算や工程がどれくらいかかり、行政がやるべきことや、えちごトキめき鉄道との調整などいろんな役割があると思う。そこを部会にかけて、一つ一つをきちんとした形にもっていくことが必要になってくる。結果、トイレの改修がいつ終わるのかという具体的なスケジュールを作っていかなければならない。これか

ら、我々の任期中に何ができるかという、そんなに時間はないと考えている。話をどんどん進めていく必要がある。

【岡田副会長】

最終的に、中郷区ではこのような使い方をしたいという提案書を市へ提出するのが我々地域協議会の役目となる。これを詰めていくのが分科会であるが、その分科会で何を話し合いするのか、よくわからない委員もいると思う。このため、先ず行わなくてはいけないのは、まちづくり振興会、観光協会、商工会などの関係団体と一体になって話し合うことである。勝馬の基金は現在これだけあるのだが、これで何ができるのかといった協議を、これら団体の意見を聞きながら進めていくことが必要なのではないだろうか。

【高橋会長】

平成 25 年度に審議をした際は、中郷区には何があるのかという観点から議論を始めた。丁度、JRからえちごトキめき鉄道に運営が移管されることになり、これを生かさないと地域を活性化できるような活動が難しいのではないかという思いがあった。個人的な考えとしては、これからは二本木駅だけではなく、ひばり荘も活性化の拠点にしたい考えを持っている。せっかく、基金を活用して改築したのだから、民設民営になったとはいえ、協議会の中でも考えていかなければならないと思っている。地域を賑わせ、活性化させるには幾つかの拠点となる場所を設けながら進めていくのが望ましいのではないだろうか。皆さんからいろんな意見をいただいた。決してトイレありきではないが、地域活動支援事業では手が届かないようなものについては、基金を活用していくのがよいのではないかと改めて感じている。トイレの改修は行うという前提で、皆さんからは次回までにそれ以外のものについて考えてきてもらいたい。それぞれ意見を出し合ってもらい、分科会に分かれていくことにしたいと思っている。次回はある程度ジャンルを絞り出して、いくつかに分かれて協議をしていきたい。また、3月の月上旬頃には活動報告会を開催したいと考えているが、この時は区内住民との意見交換の場も設け、この時に現在分科会を立ち上げて協議中である旨報告ができればよいと思っている。いずれにしても、基金は使える用途が決まっている。具体的には、環境・教育・福祉であるが、この中でも環境が最も広く取り扱える分野ではないだろうか。駐車場にしても環境に結びつけられる気がしている。電車を利用しない方のためにも何かできないのかという考えもあると思う。次回、皆さんから良い案を提案し

ていただき、次回地域協議会でまとめたいと思うが如何か。

【岡田(龍)委員】

ある程度大まかでよいので、会長からあらかじめジャンルを決めていただき、振ってもらえることはできないか。そこから話を進めていった方が早いと思う。

【高橋会長】

そのヒントとなるものを、次回皆さんから出してもらいたいと考えている。そうすることによって、一歩前に進むのではないだろうか。

【古川委員】

資料No.2に、平成25年度当時に行った実施事項の拾い出しが記載されている。全部で6項目あるが、これを基にすれば次回はそんなに話し合うことはないのではないかな。

【高橋会長】

それはそれで一つの案として考えられることだと思う。なお、この件については今後も地域協議会で毎回協議していくのではなく、ジャンルが絞り込めた段階で別の組織が中心となって、行政との調整を行っていくようにしていきたいと思っている。そうしないと、これだけで1年が終わってしまうことになる。他の課題にも取り組んでいかなければならないことから、組織には何人かの委員から出席してもらい、その都度進捗状況について報告いただければよいのではないだろうか。トイレは見積もりを取ったわけではないが、恐らく3千万円程度でできるのではないかな。そうすると、基金の残高はまだあるわけであり、これをどのように使っていくのか引き続き協議を進めていく必要があると考えている。

【陸川委員】

今、ここでジャンルを決めてしまった方がよいのではないかな。先ほどから出ている、トイレの改修と観光面の関係とで、2つなら2つに絞った中で、集中して意見を出し合ってもらえればよいと思われる。そうしないと、次回も恐らく一緒のような気がする。

【高橋委員】

最終的に目指すべき所は、二本木駅周辺をどのような形にしたいのかということである。駅前にトイレがあり、古い駅舎があり、桜が何本か植えられている。このようなイメージだけではあまりに小さい気がする。全体像を考えたビジョンについても分科会の中で協議していくことが必要だと思う。

【岡田(龍)委員】

えちごトキめき鉄道とは、その辺りの話をしている。古い駅舎であることが一つの売りとなっていることから、これに合わせたトイレや周辺施設の整備をしていくことになる。話を進めていく中で、当然のことながら今後も同社と調整を行っていかねばならないと考えている。

【高橋会長】

それでは、これまで出た皆さんの意見を踏まえ、副会長と相談のうえ次回協議会ではある程度絞った案を提示し、それを基に協議を行うことにしたい。

【高橋会長】

皆さん、他に意見等はあるか。

ー全委員なしー

【高橋会長】

特にないようなので、協議事項（１）の「自主審議事項について」は、これで閉じることとする。

続いて「その他」に移るが、事務局何かあるか。

【井田班長】

- ・ 前回の地域協議会における質問事項（地下道、消雪井戸等）について回答
- ・ 台風 21 号発生に伴う災害状況について報告

【丸山班長】

- ・ 地域活動支援事業追加及び 3 次募集（市全体）の採択結果について報告

【市村班長】

- ・ 家庭ごみの分別の一部変更について報告

【高橋会長】

今ほどの件で、何か質問等はあるか。

ー全委員なしー

【高橋会長】

委員の皆さんから、他に何かあるか。

【竹内(靖)委員】

まちづくり振興会より、3点ほど情報提供をさせていただく。1点目は、社会福祉協議会からの事業委託の予算の中で、12月10日に子育て応援企画を計画している。子育て

て分野の視点からも、皆さん都合がつけば是非見学にきてもらいたい。2点目は、空き家相談士協会新潟支部に、当まちづくり振興会が登録された。年明け早々に相談窓口を設置する予定である。今後、市の建築住宅課や総合事務所、宅建協会などと連携していきたいと考えている。3点目は、上越妙高駅フルサットの中で二本木駅のPRをすることになった。12月23日にスタッフ数名が、さとまるや物産品を持って観光客を呼び込むためのPRをする予定である。こちらも都合がつけば是非来ていただきたい。話は変わるが、昨日開催された町内会長連絡会議において、某町内会長が住民に対し、消雪パイプの件で何か不具合があったら、直接総合事務所へ連絡するよう周知した旨話があった。しかしながら、これだけ老朽化が進んでおり、水が出るたびにトラブルが発生している中、住民からの些細なことまで総合事務所で受けきれものなのか疑問を感じている。業者も対応しきれないのではないだろうか。このようなことは、やはり町内会長とよく連絡を取り合っていただくのが大事だと思われる。

【木村所長】

消雪パイプの件については、状況を見て然るべき対応をしていきたいと考えている。

【高橋会長】

他に発言がないため、これをもって本日の会議を終了する。

次回の会議は12月21日(木) 午後6時30分から「中郷区総合事務所」で行うこととする。

(終了 午後8時5分)

9 問合せ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0255-74-2411 (内線 165)

E-mail : nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。